



学校だより 第13号

令和5年3月24日

<https://www.komae.ed.jp/jh/0>

【卒業生へ贈るはなむけの言葉として】

校長 佐伯 英徳

(令和4年度第43回卒業式校長式辞より抜粋)

99名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。先ほど皆さん一人一人に卒業証書を手渡しましたが、中学校の全課程を修了した皆さんの堂々とした姿を間近で見ることができて、とても嬉しく思います。ぜひ、新たな世界へ胸を張って進んでください。



本校の教育目標の中に、自立～すすんで学び、考える力をつけようがあります。様々な経験を通して、主体性や課題発見・解決能力を伸ばすという目標ですが、今、社会全体を見ると、戦争や自然災害、そして感染症など、とても難しい問題が発生して、すぐには課題を解決できない状態が続いています。そんなとき、人はどうしたらよいのかと考えて悶々としていた頃、精神科医であり小説家の帚木蓬生（ははらぎ ほうせい）さんという方が書かれた「ネガティブ・ケイパビリティ」（朝日選書）という本に出会いました。直訳すると、後ろ向きな能力、問題を解決せず、問題をかかえておく能力というもので、もともと、19世紀のイギリスの詩人が「答えの見つからない詩の世界では、不確実なものや未解決なものを受容する能力が重要である」と書き残していて、それが巡り巡って精神医療の分野で言及されていったとのこと。人間には、「わかりたい」という本能があって、「わからない」ということに対して不安を覚えてしまうので、つい解決可能な問題ばかりを探し出してしまい、本当の「問い」を見失ってしまう。「ネガティブ」というと否定的な響きですが、それは「逃げないで、踏みとどまり、見届ける」ことであり、性急に問題を解決しようとするのではなく、どうしても解決しないときに持ちこたえる能力があれば、良い結果が生まれる可能性が大きくなると述べられていて、何度も読み返すと心に響いてきました。



令和2年4月7日、校庭での入学式から今日までの3年間、皆さんは、コロナ禍の現状を正面から受け止めながら、耐える時にはじっと耐えて、様々な経験を通して学びを深めてくれました。

今後は、皆さん一人ひとりが、かけがえのない存在としてこの社会に立ち、21世紀の日本をたくましく生き抜くことを願うとともに、解決困難な事態に遭遇したときに、「焦らず、慌てず、諦めず」に耐えながら夢の実現に向かって希望をもって歩いていく、皆さんの3年後、5年後、7年後の成長した姿を思い描きながら、この「耐える能力」の話を贈ります。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業、本当におめでとうございます。立派に9年間の義務教育を終えた、お子様の新たな門出に対しまして、心よりお祝い申し上げます。また、この3年間、PTA活動や学年・学級の諸活動を通してお寄せくださいました本校へのご理解とご協力に対しまして、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。結びに卒業生99名全員の輝かしき前途を祈念して式辞といたします。



3年・1年講演会

2月27日（月）3年生対象に「救急救命講習会」が行われました。狛江消防署職員と東京防災救急協会の方が3時間みっちり心肺蘇生やAEDの使い方などを指導してくださいました。受講した生徒に「救命技能認定証」が後日交付されました。また『生命の安全教育』として3月8日（水）に産婦人科医の加藤有美先生の「性教育講演会」と10日（金）にいのちの語り部の青木千景先生の「いのちの授業」が行われました。「救急救命講習会」や『生命の安全教育』を通して、かけがえのない命を実感するとともに自分や相手を大切にするための行動がとれるよう多くのことを学びました。3月1日（水）に日本禁煙学会総務委員長の宮崎恭一様をお招きして、1年生が「喫煙防止講演会」を受講しました。タバコの体への影響や害について学び、講演会後に喫煙を誘われた時に断る力を身につけるためのロールプレイングを各教室で行いました。



2年音楽鑑賞教室・校外学習

3月1日（水）に「狛江市立中学校連合音楽鑑賞教室」が狛江市立中学校4校の2年生を対象に大規模改修工事が終わったエコルマホールで行われました。東京都交響楽団の演奏でベートーベンやブラームスなどの名曲を鑑賞しました。3月10日（金）に校外学習として、班別行動で喜多見駅より鎌倉へ行きました。3年生での修学旅行の班行動につなげるとともに、集団行動のルールやマナー、協力する姿勢を身につけるために行いました。事前に鎌倉の文化遺産を巡るコースを決めたり昼食の予約をしたりとたくさんの準備を行ってきました。当日は天候に恵まれ計画通りにコースを巡ることができ充実した校外学習になりました。



ザ・四中スペシャル

3月4日（土）に総合的な学習の時間として、地域と保護者の方を講師にお迎えして、交流を通しながら専門的なことを学ぶ体験授業「ザ・四中スペシャル」を行いました。普段学ぶことが出来ない多岐に渡る内容の15講座が用意され、希望した講座を生徒は受講しました。地元の方の指導の下、温かい気持ちが伝わる楽しい学びになりました。講師をしていただいた地域の方そして保護者の皆様に感謝いたします。



※ HP 版には、行事予定を掲載していません。